

資料1

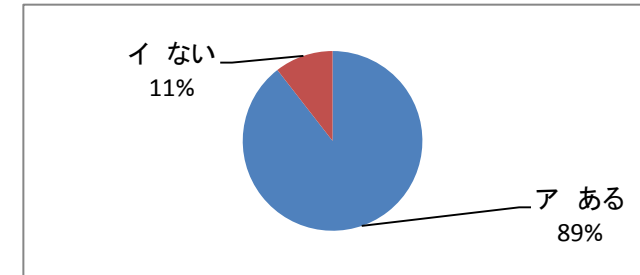
資源回収に係る県内自治体調査集計結果

対象: 県内自治体61団体
回答: 57自治体

【1】資源集団回収について

①貴団体では資源集団回収事業に対し、報償金・補助金等を支給する制度はありますか？

項目	回答数
ア ある	51
イ ない	6



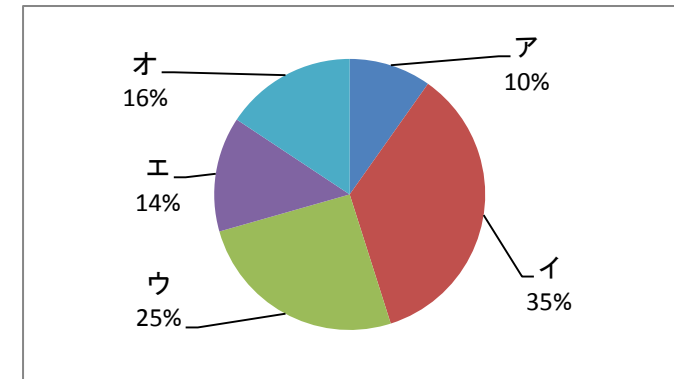
アンケートを回答いただいた自治体の約9割で資源集団回収事業に係る補助制度が存在する。

②活動されている資源集団回収団体数とその内訳について教えてください。

(1) 団体数

項目	回答数
ア 0～10団体	5
イ 11～50団体	18
ウ 51～100団体	13
エ 101～200団体	7
オ 200団体超	8

※自治体の平均団体数105団体



【参考】

久喜宮代衛生組合

84団体

11～50団体の自治体が一番多く、次いで51～100団体、200団体超、101～200団体となっているが、自治体の平均団体数は105団体となっている。

200団体超の自治体は、さいたま市、川越市、所沢市、春日部市、深谷市、草加市、越谷市、三郷市で、深谷市と三郷市以外は人口20万人以上の市となっている。

なお、調査の結果、新座市(団体数159団体)は横浜市と同様に100%資源集団回収で紙類・衣類を回収しているとのことだった(県内唯一)。

(2) 団体内訳

①比率

内容	比率(%)
ア 行政区	0.7
イ 自治会・町内会・コミュニティ協議会	32.7
ウ 子供関連の団体（PTA・子ども会・スポーツ少年団等）	44.2
エ 婦人会・老人会	2.6
オ 環境団体	1.7
カ その他の団体	18.1

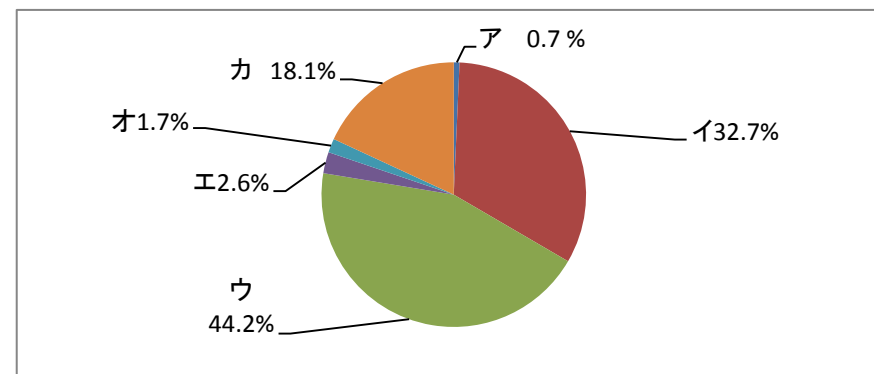
カの内容 福祉団体、マンション管理組合、障害者団体、NPO法人

【参考:久喜宮代衛生組合】

内容	比率(%)	団体数
ア 行政区	0.0	0
イ 自治会・町内会・コミュニティ協議会	36.9	31
ウ 子供関連の団体（PTA・子ども会・スポーツ少年団等）	50.0	42
エ 婦人会・老人会	4.8	4
オ 環境団体	3.5	3
カ その他の団体	4.8	4

【参考:新座市】

内容	比率(%)	団体数
ア 行政区	0	0
イ 自治会・町内会・コミュニティ協議会	72.3	115
ウ 子供関連の団体（PTA・子ども会・スポーツ少年団等）	22	35
エ 婦人会・老人会	0	0
オ 環境団体	0	0
カ その他の団体	5.7	9

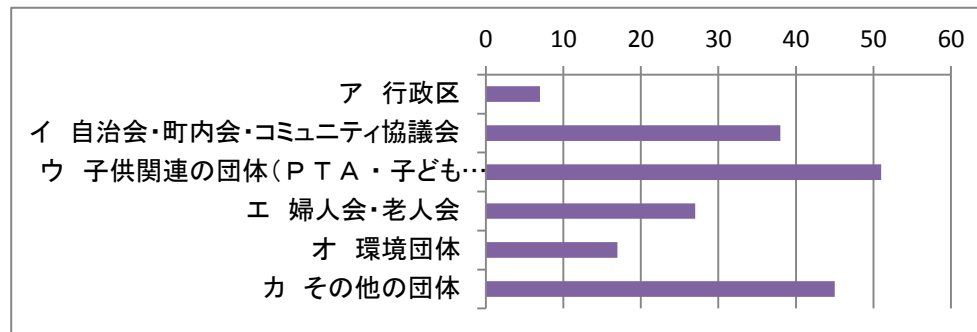


全体では子供関連の団体が最も多く、次いで自治会・町内会・コミュニティ協議会、その他の団体と続く。以下は3%に満たない数値となっている。

なお、新座市については、全自治会・町内会が資源集団回収団体として登録され、毎週1回決められた曜日に回収を実施しているとのことだった(このため、市の収集表では地区ごとに資源の回収曜日を記載している。なお、同ページに資源集団回収団体が回収しているという記載はない)。このことにより、自治会・町内会の%が高くなっている。

②各項目で資源集団回収団体が存在する自治体数(全51自治体)

内容	自治体数
ア 行政区	7
イ 自治会・町内会・コミュニティ協議会	38
ウ 子供関連の団体(PTA・子ども会・スポーツ少年団等)	51
エ 婦人会・老人会	27
オ 環境団体	17
カ その他の団体	45

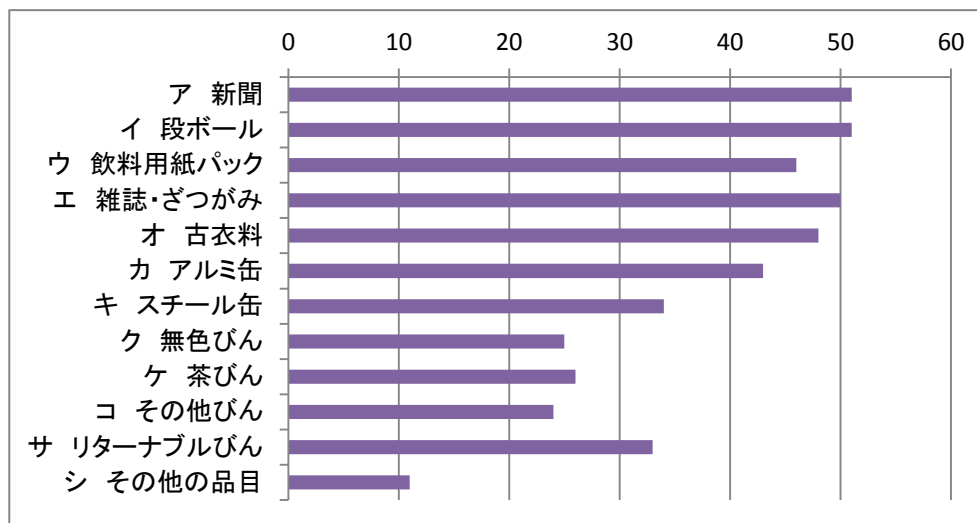


子供関連の団体は全自治体で存在する。これは、資源集団回収が学校等での廃品回収の流れから発展したものであるからと考えられる。一方、自治会・町内会については、13の自治体で団体が存在しないという回答だった。主に資源集団回収団体の全体数が10以下の団体であるが、鴻巣市・加須市は全体数が60台だが、行政区・自治会ともに存在しない。また、行政区の団体が存在するのは7自治体に留まった。

③資源集団回収の報奨金・補助金等の対象品目について教えてください。

(全51団体)

内容	自治体数
ア 新聞	51
イ 段ボール	51
ウ 飲料用紙パック	46
エ 雑誌・ざつがみ	50
オ 古衣料	48
カ アルミ缶	43
キ スチール缶	34
ク 無色びん	25
ケ 茶びん	26
コ その他びん	24
サ リターナブルびん	33
シ その他の品目	11



シの主な品目 カレット、金属くず、ペットボトル

(次ページに続く)

【参考:久喜宮代衛生組合】新聞、段ボール、飲料用紙パック、雑誌・ざつがみ、古衣料

【参考:新座市】新聞、段ボール、飲料用紙パック、雑誌・ざつがみ、古衣料

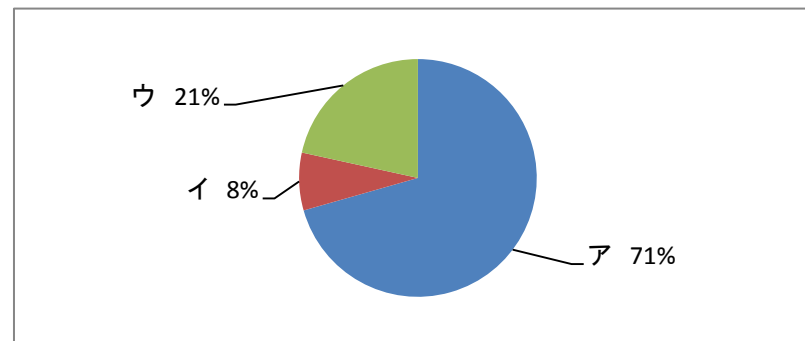
紙類・古衣料については、ほぼ全ての自治体が対象品目としている。次いでアルミ缶が高い(84%)。その他の品目については60%台で、自治体により考えが分かれていることが伺える。

なお、新座市の対象物は新聞、段ボール、飲料用紙パック、雑誌・ざつがみ、古衣料で、当組合と同じである。

④資源集団回収団体に対する報奨金・補助金等の金額の決定方法について教えてください

(全51団体)

項目	回答数
ア 種類によらず全て回収重量によって報償金等を決定する。	36
イ 回収重量により決定するが、種類により報償金の単価が違う。	4
ウ その他	11



ウ その他の内容

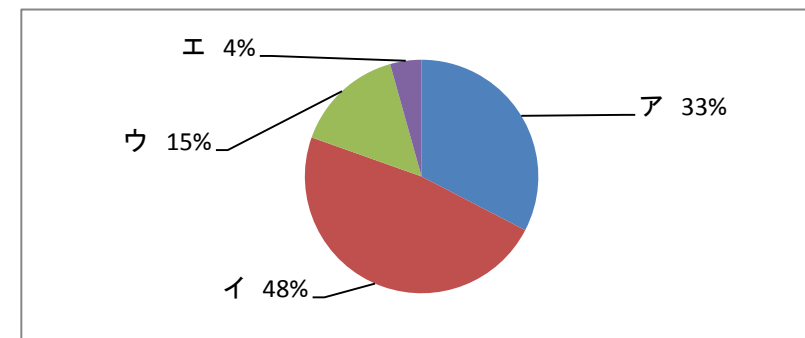
- ・リターナブルびん又はびんは本数あたりで算出、他は種類によらず回収重量により決定(10団体)
- ・(申請者の資源回収実績÷総資源回収実績)×予算額 (蓮田市)

種類によらず全て回収重量で報償金を決定する団体が51団体中36団体、びん類以外回収重量という団体を加えると46団体となった。なお、集めた重量によって報償金の金額が変動する「累進制」をとっている団体は県内にはいなかった。

④-2 報償金額 (④でアまたはウと回答した団体対象)

(全46団体)

項目	団体数	※自治体平均4.4円
ア 3円以下	15	
イ 3円超5円以下	22	
ウ 5円超7円以下	7	
エ 7円超	2	



【参考】 久喜宮代衛生組合7円、新座市4円

【④でイと回答した団体の内容】

- ・紙類・古衣料 10円、その他 7円。(日高市)
- ・新聞・雑誌・ざつがみ・段ボール・古衣料 8円。その他は売却金額の30%。(八潮市)
- ・新聞・段ボール・古衣料・雑誌 4円、雑がみ・飲料用紙パック 6円。(吉川市)
- ・アルミ缶 20円/kg、アルミ缶以外6円/kg。ただし、1団体の補助上限は年間50万円まで。(滑川町)

報償金が5円以下の団体が8割を占め、自治体平均4.4円となっている。

一方、当組合の7円よりも報償金が高い団体は④でイと回答し、一部7円を超える額を支給している日高市・八潮市を加えても4団体に留まっており、当組合の報償金は県内でも高い金額と言える。

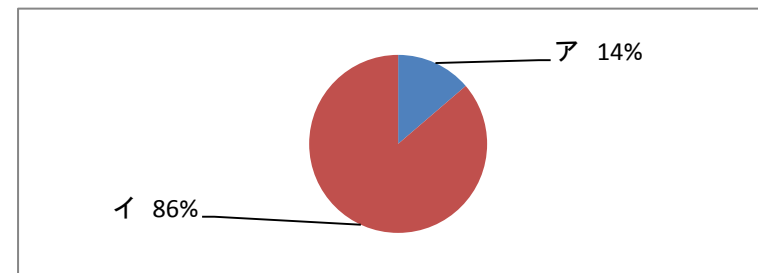
また、100%集団回収で資源を回収している新座市の報償金は4円だった。

⑤資源集団回収団体の委託を受け、資源の回収を行う回収業者に対し、報奨金や助成金等を支給していますか？

(全51団体)

項目	回答数
ア している	7
イ していない	44

【参考】久喜宮代衛生組合 していない



回収業者への報償金や助成金を支給している団体は、14%に留まった。

⑤-2 支給している自治体の内容

- ・布類は金額固定、その他は市況により変動。現在 布類 4円/kg、その他 1円/kg。(新座市)
- ・市で回収業者と委託契約という形で支給している。新聞 0.3円/kg、雑誌・段ボール・布類 1円/kg(三郷市)
- ・種類問わず 2円/kg(飯能市)
- ・種類問わず 1.4円/kg(川越市)
- ・カレット8円、金属類(アルミ缶を除く)5円 その他は対象外。(毛呂山町)
- ・リターナブルびん8円/本、金属類(アルミ缶を除く)8円 その他は対象外。(越生町)
- ・単価は市況により変動。現在は0円。(狭山市)

売却金額が安価または逆有償になるような資源への補てんという側面が強いと推測される。
また、100%資源集団回収を行っている新座市でも業者に報償金を支給している。

【2】公共回収と資源集団回収について

①貴団体では資源集団回収の対象物について、資源物として公共回収を行っていますか？

(全50団体)

項目	回答数
ア 行っている(※1)	48
イ 行っているが、資源集団回収を行っている地区は除外している(※2)	1
ウ していない	1

所沢市 (※2) ただし、公共回収と資源集団両方行っている地区もある。

新座市 100%資源集団回収で対応。(紙類、古衣料)

(※1)ア 行っているの特記事項

- ・本庄市 紙類・古衣料は可燃ごみで収集。
- ・美里町 紙類・古衣料は可燃ごみで収集。
- ・神川町 紙類・古衣料は可燃ごみで収集。
- ・上里町 新聞紙は資源集団回収で対応。その他の紙類・古衣料は可燃ごみで収集。

②資源物を資源集団回収のみで行っている地区の住民に、行政として収集日や収集場所等情報をアナウンスしていますか？

(全2団体)

項目	回答数
ア 行っている	2
イ 行っていない	0

新座市、所沢市とも行政として住民にアナウンスしているとのことである。

なお、新座市については、全自治会・町内会が毎週1回決められた曜日に回収を実施ことになっているため、市の収集表に地区ごとに資源の回収曜日を記載しているとのことだった。

③今後、資源物の回収にあたり、公共回収と資源集団回収をどのように進めていこうとお考えですか？

(①でア・イと回答した49団体)

項目	回答数
ア 資源集団回収を縮小・廃止して、公共回収に統一していく	1
イ 現行のバランスを保ち、公共回収・資源集団回収ともに行っていく	45
ウ 公共回収を縮小・廃止して、資源集団回収に統一していく	1
エ その他	2

坂戸市

所沢市

エ その他の内容 ・現行以上に資源集団回収量が増加するよう啓発に努めるが、公共回収も継続していく。(小川町) ・検討中(春日部市)

公共回収と資源集団回収の両方を行っている団体のほとんどが、双方のバランスを保ち制度を継続していくという回答だった。